

花巻市地域公共交通計画（素案）に関する意見と市の考え方について

（パブリックコメント 令和6年2月9日～3月9日）

【対応状況の区分説明】

修正…いただいた意見をもとに花巻市地域公共交通計画（素案）を修正

参考…ご意見として承り、素案の修正は行わない

| No. | 提出方法 | 資料 | 区分① | 区分② | 頁 | 意見の内容 | 市の考え方 | 対応状況 | 計画素案の反映状況 |
|-----|------|----|-----|---------------------|----|--|---|------|---|
| 1 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | - | 諸対策（事業といったほうがいいのか）の計画期間年度別の事業費等について、表を作成し参考資料として掲載してはどうでしょうか。 過去数年間の実績値はデータがあるので示してよいと思います。 計数：事業費、市支出負担額、国・県補助額 P13の表に掲示の運行経費等は路線バスの運行維持の困難さが分かる説得力あるデータとなっています。 | 現時点で、各事業の詳細が決まっていないため、事業費の算定は困難です。 過去の実績値につきましては、市が補助金を交付している支線バス路線や予約乗合交通の補助金実績について、幹線路線と同様に令和4年度実績を追記いたします。 | 修正 | 素案P14に「図3)-10 運行便数、バス停車数、利用者数、補助状況（R4時点）」の図を追記します。 素案P17に「図5)-4 運行日数、利用者数、補助状況（R4時点）」を追記します。 |
| 2 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 42 | 花巻地域に関しても空白区についてはタクシー、又はバスで運行するように対応するべきである。 | 本計画では、基本目標2に関する施策eとして、交通空白地域への予約乗合交通の導入する事業である、e-1 花巻地域（湯口・湯本・矢沢・宮野目地域）への予約乗合交通の導入」を掲載しており、交通空白地域の縮減に取り組むこととしております。 | 参考 | - |
| 3 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 48 | 施策dの利用促進については観光分野との連携は非常に大切である。 | 施策dのJR東北本線、JR釜石線の維持につきましては、通勤通学などの生活利用の他、観光利用を含め、沿線自治体と連携し利用促進を図ることとしております。 | 参考 | - |
| 4 | 持参 | 本編 | 全般 | - | - | 現行と異なる対策を取り上げるなどの要約版を掲載してはどうでしょうか。計画書は現状分析を「よくしており、「なるほど」と思う内容になっていますが、いささか大冊になっています。対策・事業の改廃・事業の新設部分などを抜粋して要約版を作成、掲載をと思うものです。 | 計画策定時にあわせて、市民の皆様がわかりやすい内容を記載した計画の概要版を作成し、ホームページ等で周知をいたします。 | 参考 | - |

| No. | 提出方法 | 資料 | 区分① | 区分② | 頁 | 意見の内容 | 市の考え方 | 対応状況 | 計画素案の反映状況 |
|-----|------|----|-----|---------------------|----------------|---|--|------|-----------|
| 5 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 54 | バスの運行ルートの変更によって、運転手の不足をカバーしつつ、利便性を高めることはとても良いと感じました。 しかしながら、運転士が減少している現状への対策が無い場合、今後も運転手の減少に歯止めがかからないようにも思われます。運転手自体の確保も必要なのではないでしょうか。 | 基本目標4の施策1において、運転士確保に対する支援を検討する事業に取り組むこととしており、今後、具体的な取り組みについて検討してまいります。 | 参考 | - |
| 6 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 52 | イトーヨーカドーから同じ時間帯から発車するバスが複数あると間違えるので困っている。改善してほしい。 | ご意見として承り、運行事業者である岩手県交通(株)に申し伝えます。 | 参考 | - |
| 7 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 52 | 大迫花巻線の後、仙台までのバスに乗れるようにしてほしい。ダイヤがあわずに乗車が出来ないので困っている。 乗継前にトイレに行く時間が欲しい。 早池峰大償など神楽の日(月1回)にJRの下りの後、花巻駅から行きたい。開始と終了したところにバスが乗れるようにしてほしい。 | 大迫花巻線は、現在、平日4往復、土日2往復、大迫地域から花巻駅経由し、岩手中部病院まで乗継することなく運行しておりますが、利用者が少なく、令和4年度では計画に記載しているとおり、年間約32,000千円を市が負担している状況です。 計画では、利便性の向上を目的に、令和6年度において花巻駅から県立中部病院間を分離し、さらに、令和7年度からは、大迫花巻線を観光の2次交通として、いわて花巻空港を経由する運行経路への見直しを計画しておりますが、車両及びドライバーの確保や運行経費を踏まえ、いただいたご意見を参考に、運行便数や運行ダイヤを検討してまいります。 | 参考 | - |
| 8 | 持参 | 本編 | 第4章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 47 50 52 | 公共交通を利用したことは、ここ20年くらいありません。が、自分の年齢を考えると乗合バス等は残してほしいです。一度の外出で複数の用事を済ませたいと考えますので、花巻・石鳥谷方面があると思います。 又、金融機関、医療機関等の利用の為に、盛岡方面もあればいいかなと思います。 | 計画では、大迫地域予約乗合バスは運行日の拡大等の見直しを検討し、利便性の向上を図りながら維持することとしております。 また、大迫地域から石鳥谷、花巻地域へ運行している「大迫石鳥谷線」「大迫花巻線」の幹線バス路線の他、盛岡方面に運行している「大迫地域～岩手医科大学附属病院～盛岡赤十字病院連絡バス」につきましても、維持することとしております。 | 参考 | - |

| No. | 提出方法 | 資料 | 区分① | 区分② | 頁 | 意見の内容 | 市の考え方 | 対応状況 | 計画素案の反映状況 |
|-----|------|----|-----|---------------------|----------|--|---|------|-----------|
| 9 | 持参 | 本編 | 第5章 | (5) 目標達成のための施策および事業 | 47 50 | <p>自分が免許を変更した場合の時のことを考えると、通院、買い物、支所、金融機関などへ出向くのは、大迫だけではなく石鳥谷、花巻、北上、盛岡方面であると思われます。</p> <p>路線バスは本数も減少し、不便であるため、予約乗合バス・タクシーの運行を現行の大迫までの他に、石鳥谷駅まで利用可能にさせていただけるよう検討いただきたいと思います。</p> <p>それにより、路線バスが廃止されてもやむを得ないと考えております。</p> | <p>計画の作成にあたり、既に予約乗合交通が導入されている大迫地域の運行内容の見直しについて運行事業者である花巻地区タクシー業協同組合と協議を行ったところ、大迫地域から石鳥谷地域までの地域を跨いだ運行は、1回の運行に係る時間が長くなるため、対応が難しいとの回答があったところです。</p> <p>令和6年度も運行内容の見直しについて検討することとしておりますが、予約乗合交通の地域を跨いだ運行は、路線バスに影響を与えることが予想されることから、その点も考慮した上で、見直しを検討してまいります。</p> <p>なお、計画では、バス車両や運転士が限られている中で、今ある交通手段を維持しつつ、路線バスや予約乗合交通がそれぞれの役割の基に共存し、公共交通ネットワークを確保していくこととしており、「大迫石鳥谷線」につきましても、大迫地域内外への高校への通学や小学校のスクールバスでも活用されていることから、本計画では幹線バス路線として維持することとしております。</p> | 参考 | - |